

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4566553号
(P4566553)

(45) 発行日 平成22年10月20日(2010.10.20)

(24) 登録日 平成22年8月13日(2010.8.13)

(51) Int.Cl.

F I

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

A 6 3 F 5/04 5 1 1 F

A 6 3 F 5/04 5 1 2 V

A 6 3 F 7/02 3 2 6

請求項の数 1 (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2003-410586 (P2003-410586)
 (22) 出願日 平成15年12月9日(2003.12.9)
 (65) 公開番号 特開2005-168655 (P2005-168655A)
 (43) 公開日 平成17年6月30日(2005.6.30)
 審査請求日 平成18年11月29日(2006.11.29)

(73) 特許権者 000154679
 株式会社平和
 東京都台東区東上野二丁目2番9号
 (74) 代理人 100068618
 弁理士 粁 経夫
 (74) 代理人 100093193
 弁理士 中村 壽夫
 (74) 代理人 100104145
 弁理士 宮崎 嘉夫
 (74) 代理人 100109690
 弁理士 小野塚 薫
 (72) 発明者 渡辺 恵介
 群馬県桐生市広沢町2丁目3014番地の
 8 株式会社 平和内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 遊技機

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

枠体が、前枠と、内枠と、外枠とで構成され、前記前枠と内枠がそれぞれ前記外枠に対して同じ方向へ片開き可能に取り付けられており、前記内枠にはスロットマシン用の遊技ユニットが収納されている遊技機において、

前記遊技ユニットには、

スロットマシンの遊技内容に応じた演出画像が表示される演出表示装置と、

前記前枠に設けられた遊技の開始を指示するスタートレバーの操作に基づいて回動表示動作を開始する複数の回胴ユニットと、

この回胴ユニットと前記演出表示装置とを収容し、前記内枠に収納されて取付けられる取付枠と、

この取付枠に、該取付枠に対して前記前枠と同じ方向に片開き可能に取り付けられるデザインパネル取付枠と、

そのマシンの特徴を表わす図柄が描かれると共に、前記デザインパネル取付枠に取付けられて前記取付枠に前記前枠及び内枠の片開き方向と同じ方向に片開き可能に構成され、前記デザインパネル取付枠が閉じられた状態で前記回胴ユニット及び前記演出表示装置を見るための窓が形成されて遊技ユニットの前面をなすデザインパネルと、

前記取付枠の裏側に取付けられ、前記回胴ユニットの動作制御を含む遊技内容の制御を行う主制御基板と、

この主制御基板と同じく前記取付枠の裏側に取付けられ、前記演出表示装置への画像制

10

20

御を含む演出表示の制御を行う演出制御基板と、

前記遊技ユニットの左右上部に設けられて、前記内枠の左右に設けられた凸状の位置決め部材を挿入して前記内枠内に前記遊技ユニットを位置決め収納する孔状の位置決め部材と、

が配設されていることを特徴とする遊技機。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、遊技機の枠内に収納されるスロットマシン用の遊技ユニットに関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来の遊技機としては、遊技球を遊技媒体として使用し、遊技盤上に形成された遊技領域に遊技球を流下させて遊技を行うパチンコ機や、同じくパチンコ機の遊技球を遊技媒体として使用し、複数の表示部にそれぞれ複数種類の図柄を変動表示させ、その停止図柄の組合せに応じて遊技を行うスロットマシン等が知られている。そして、パチンコ機とスロットマシンとに共通に使用できる遊技機枠を備え、パチンコ機用の遊技盤、皿装置、および球発射装置と、スロットマシン用の遊技盤、皿装置、および球取込装置とを交換することで、パチンコ機としてもスロットマシンとしても構成することができる遊技機枠が知られている（特許文献1）。

【0003】

【特許文献1】特開2002-191816号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかしながら、特許文献1の発明では、図柄の描かれた遊技盤に、図柄の組合せ遊技が開始される図柄表示装置と、遊技者に伝えるべき遊技状況を発光や文字等によって表示する図柄当りライン表示部、球取込数表示部、賭数表示部、当り発生確率表示部から構成される遊技情報表示部とが備えられているものの、図柄の組合せ遊技とは別に遊技の映像による演出表示を行う演出表示装置、例えば、液晶表示装置は備えられておらず、遊技者の興趣を高める演出効果としては不十分であった。また、遊技盤に対する図柄表示装置、遊技情報表示装置等の取り付け構造については記載されておらず、これらの交換、修理作業等を含むメンテナンス面、およびリサイクルの容易性が保証されていなかった。

【0005】

そこで、本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、遊技中の演出効果を十分に高めることができると共に、部品、装置等の交換、修理作業、およびリサイクルを容易に行うことができる遊技機の提供を目的とするものである。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記課題を解決するために、請求項1に係る遊技機の発明は、枠体が、前枠と、内枠と、外枠とで構成され、前記前枠と内枠がそれぞれ前記外枠に対して同じ方向へ片開き可能に取り付けられており、前記内枠にはスロットマシン用の遊技ユニットが収納されている遊技機において、前記遊技ユニットには、スロットマシンの遊技内容に応じた演出画像が表示される演出表示装置と、前記前枠に設けられた遊技の開始を指示するスタートレバーの操作に基づいて回動表示動作を開始する複数の回胴ユニットと、この回胴ユニットと前記演出表示装置とを収容し、前記内枠に収納されて取付けられる取付枠と、この取付枠に、該取付枠に対して前記前枠と同じ方向に片開き可能に取り付けられるデザインパネル取付枠と、そのマシンの特徴を表わす図柄が描かれると共に、前記デザインパネル取付枠に取付けられて前記取付枠に前記前枠及び内枠の片開き方向と同じ方向に片開き可能に構成され、前記デザインパネル取付枠が閉じられた状態で前記回胴ユニット及び前記演出表示

10

20

30

40

50

装置を見るための窓が形成されて遊技ユニットの前面をなすデザインパネルと、前記取付枠の裏側に取付けられ、前記回胴ユニットの動作制御を含む遊技内容の制御を行う主制御基板と、この主制御基板と同じく前記取付枠の裏側に取付けられ、前記演出表示装置への画像制御を含む演出表示の制御を行う演出制御基板と、前記遊技ユニットの左右上部に設けられて、前記内枠の左右に設けられた凸状の位置決め部材を挿入して前記内枠内に前記遊技ユニットを位置決め収納する孔状の位置決め部材と、が配設されていることを特徴とするものである。

【発明の効果】

【0007】

本発明に係る請求項1の遊技機によれば、遊技内容に応じた演出画像を演出表示装置に表示することにより演出効果を高めることができる。また、遊技ユニットに演出表示装置と、回胴ユニットと、デザインパネルと、主制御基板と、演出制御基板を配設した構成を有することにより、スロットマシンの機種を変更する場合に、遊技ユニットを交換することにより容易に対応することができる。また、遊技機をパチンコ機としての使用からスロットマシンとしての使用に変更する場合にも、遊技ユニットを交換することにより容易に対応することができる。さらにリサイクルにも有効である。

【発明を実施するための最良の形態】

【0008】

以下、本発明に係る遊技機の実施の形態を添付図面に基づいて説明する。

図1は、本発明に係る遊技機の一形態であるスロットマシンの分解斜視図である。図1に示すように、スロットマシン1の枠体は、外枠2と、内枠3と、前枠4と遊技ユニット5とから概略構成されている。内枠3は、図2および図3に示すように、外枠2に取り付けられている。前枠4は、図2に示すように、外枠2および内枠3に対して片開き可能に取り付けられる。また、内枠3に形成された収納部には、図2および図3に示すように、遊技ユニット5が収納され、固定部材によって固定される。

【0009】

外枠2は、いわゆるパチンコホールの島等の遊技機設置設備に設置される枠であり、従来のいわゆるパチンコ遊技機の外枠と同じ形状を有するものである。従って、図1に示す内枠3と、前枠4も、他の遊技機であるパチンコ機の各枠体として共通に使用可能な構造にすることで、遊技ユニット5をパチンコ機用の遊技盤ユニットに交換することにより、1組の枠体でパチンコ遊技をも行うことが可能である。以下、本発明でいう遊技機とは、スロットマシン1のことを指すが、上記のように一台の遊技機によって、遊技ユニットを交換するだけで、即ち、スロットマシン用の遊技ユニットを使用するか、あるいはパチンコ機用の遊技ユニットを使用するかで、スロットマシンの遊技、あるいはパチンコ機の遊技を行うことができる遊技機であってもよい。

【0010】

内枠3は、上ヒンジ6、7と下ヒンジ9、10を介して外枠2に対して前枠4と同じ方向へ片開き可能に取り付けられている。上ヒンジ6、7は、外枠2の左上隅部に設けられた図示を省略する孔と、内枠3の左上隅部に設けられた軸8によって構成されている。また、下ヒンジ9、10は、外枠2の左下隅部に設けられた図示を省略する孔と、内枠3の左下隅部に設けられた図示を省略する軸によって構成されている。

また、前枠4を内枠3に取り付けるための上ヒンジ11、12は、内枠3の左上隅部に設けられた孔13と、前枠4の左上隅部に設けられた図示を省略する軸によって構成されている。そして、下ヒンジ14、15は、内枠3の左下隅部に設けられた孔16と、前枠4の左下隅部に設けられた図示を省略する軸によって構成されている。

【0011】

前枠4の下部には皿装置17が設けられ、上部には前面装飾部18が設けられている。前面装飾部18には、その中央部に開口部19が設けられ、開口部19には、着脱可能に取り付けられた棧20によって区画される上部開口部21と下部開口部22が設けられている。開口部19の両側にはサイドランプ23が設けられ、開口部19の上部にはトップ

ランプ 2 4 が設けられている。また、トップランプ 2 4 を挟むように左右両側にスピーカ 2 5 が設けられている。そして、内枠 3 の前面側の右側部中央には錠穴 2 6 が設けられ、この錠穴 2 6 に図示を省略する鍵を指し込んで左に回動させることにより前枠 4 と内枠 3 との間のロックが解除されて、前枠 4 がヒンジ 1 1、1 2、1 4、1 5 を支点として片開き可能な状態になる。また、錠穴 2 6 に指し込んだ鍵を右に回動させることにより内枠 3 と外枠 2 との間のロックが解除されて、内枠 3 がヒンジ 6、7、9、1 0 を支点として前枠 4 と共に片開き可能な状態になる。

【 0 0 1 2 】

皿装置 1 7 は、前枠 4 の前面装飾部 1 8 よりも前方に突出した形態に形成されている。皿装置 1 7 の遊技球収納部 2 7 は、上部側が開放した形態に形成されており、仕切部 3 0 を介して左側には、図示を省略する球貸機の球排出ノズルから排出される貸球を受ける第 1 の収納部 2 8 が形成され、右側には球取込装置 3 1 に供給される遊技球を収納するための第 2 の収納部 2 9 が形成されている。第 1 の収納部 2 8 と第 2 の収納部 2 9 とは、内枠 3 に設けられた球一時貯留部 3 2 を介して互いに連結されている。また、第 2 の収納部 2 9 は球誘導路によって球取込装置 3 1 に連結されている。これらの収納部 2 8、2 9 内の遊技球は、第 2 の収納部 2 9 から球誘導路を介して球取込装置 3 1 に供給される。球取込装置 3 1 は前枠 4 の裏面に取り付けられている。

【 0 0 1 3 】

皿装置 1 7 の前面側には、遊技開始の指示手段としてのスタートレバー 3 3 と、スタートレバー 3 3 からの遊技開始信号によって開始された複数の回動リールの回転をそれぞれ停止させ、図柄を停止表示させる図柄停止ボタン 3 4、3 5、3 6 が設けられている。回動リールについては後述するが、図柄停止ボタンは回動リールと同じ数だけ設けられており、各図柄停止ボタンを操作すると、例えば、押し操作するとそれぞれの図柄停止ボタンに対応する回動リールが停止する。

【 0 0 1 4 】

皿装置 1 7 の前面側で図柄停止ボタン 3 4、3 5、3 6 の下部には、遊技球の貸出しに球貸カードユニットを使用する場合、遊技球を貸出すために操作する貸球ボタン 3 7、球貸カードユニットに挿入したカードを返却させるためのカード返却ボタン 3 8、カードの有価価値を表示する表示器 3 9 が設けられている。さらにこれらの下部には、第 2 の収納部 2 9 に貯留されている遊技球を外部に排出させるための球排出ボタン 4 0 が設けられている。また、本遊技機は遊技ユニット 5 をパチンコ機用の遊技盤ユニットに交換することでパチンコ機としても遊技できるものであり、皿装置 1 7 の図柄停止ボタン 3 4、3 5、3 6 から見て右側部壁面には、本遊技機をパチンコ機として使用する場合に用いられる遊技球発射操作部としての球発射用ハンドル 4 1 が設けられている。

【 0 0 1 5 】

皿装置 1 7 の上面には、遊技媒体として遊技球の賭け数のうち最大賭球数 (MAX BET) を設定する MAX BET ボタン 4 2、MAX BET よりも小さい賭球数を設定する 1 BET ボタン 4 3、賭球数の設定を取り消すキャンセルボタン 4 4、遊技者が獲得あるいは投入した遊技球のうち第 2 の収納部 2 9 から球取込装置 3 1 にかけて設けられた球誘導路内の遊技球を清算して回収するための球抜きボタン 4 5 が設けられている。尚、1 BET ボタン 4 3 は、スタートレバー 3 3 の操作によるゲーム開始前に設定するものであり、1 回目の設定で 1 BET の設定、2 回目の設定で 2 BET の設定、3 回目の設定で 3 BET の設定、即ち、MAX BET の設定が可能となる。MAX BET の設定後に 1 BET あるいは 2 BET に設定し直したい場合には、キャンセルボタン 4 4 を操作することにより MAX BET ボタン 4 2 の設定は初期状態にリセットされ 1 BET の設定が可能となる。

【 0 0 1 6 】

また、このスロットマシンにおける 1 BET 当りの賭球数は、原則的には 5 個に設定しており、2 BET で 1 0 個、3 BET、即ち、MAX BET で 1 5 個の遊技球を 1 度の遊技において賭けることになる。この賭球数の設定によって、メダルを使用するスロットマシンと同等の金額投入による遊技を可能にしている。従って、第 2 の収納部 2 9 から遊技

10

20

30

40

50

球を取り込む球取込装置 3 1 としては、例えば、遊技球を順次 1 個ずつ取り込むことができるスプロケットと、取り込んだ遊技球を検出する光透過型センサ等のセンサを有し、センサで球取込数を検出してこの検出信号を後述する主制御基板内のカウンタ等で 4 個計数する毎にスプロケットを停止するような構成を備えたものを使用するればよい。尚、計数した遊技球は回収装置へ送られて回収される。

【 0 0 1 7 】

内枠 3 は、その前面側に遊技ユニット 5 を収納するための遊技ユニット収納部 5 0 を有している。また、内枠 3 の下部には、スピーカ 5 1、球一時貯留部 3 2 等の遊技部品が取り付けられ、さらに前枠 4 に取り付けられた球取込装置 3 1 を収納するための収納孔 5 2 が形成されている。

10

【 0 0 1 8 】

遊技ユニット 5 は、内枠 3 の左右上部に設けられた位置決め部材 5 3 a と遊技ユニット 5 の左右上部に設けられた位置決め部材 5 3 b、および内枠 3 の左右下部に設けられた位置決め部材 5 4 a と遊技ユニット 5 の底部に設けられた図示を省略する位置決め部材によって所定の位置に位置決めされて遊技ユニット収納部 5 0 に収納される。即ち、内枠 3 の左右下部に設けられた内枠 3 に対して前後方向に延びる凸状部 5 4 a を遊技ユニット 5 の底部に設けられた図示を省略する凹状部に嵌合させて遊技ユニット 5 を内枠 3 の遊技ユニット収納部 5 0 へ収納させると共に、内枠 3 の左右上部に設けられた凸状部 5 3 a を遊技ユニット 5 の左右上部に設けられた位置決め孔 5 3 b に挿入させる。

【 0 0 1 9 】

20

収納された遊技ユニット 5 は、遊技ユニット 5 の上面に設けられた係合部 5 5 a に内枠 3 の左右上部に設けられた係合フック 5 5 b を回動させて係合させることにより係止される。そして、前枠 4 を閉じたとき、遊技ユニット 5 は、閉じられた前枠 4 により前面側から押圧されることによって固定される。遊技ユニット 5 の前面は、前枠 4 を閉じたときに前枠 4 の開口部 1 9 を介して遊技者に見えるようになっている。このような構成により、遊技ユニット 5 の交換、修理作業が容易であると共に、リサイクル利用も容易である。

【 0 0 2 0 】

遊技ユニット 5 の構造を図 4 から図 1 2 に示す。遊技ユニット 5 は、遊技盤パネル（デザインパネル）5 6 と、このデザインパネル 5 6 が取り付けられるデザインパネル取付枠 5 7 と、デザインパネル取付枠 5 7 によって表面側が覆われ、演出表示ユニット 5 9、複数の回胴ユニット 6 0、例えば、この形態では 3 個の回胴ユニット 6 0 a、6 0 b、6 0 c を内部に収納し、さらには裏面側に遊技内容を制御するための主制御基板 6 1、演出表示を制御するための演出制御基板 6 2 が取り付けられている取付枠 5 8 とで構成されている。また、取付枠 5 8 には、上述した内枠 3 に設けられた係合フック 5 5 b を係合させる係合部 5 5 a が設けられている。

30

【 0 0 2 1 】

デザインパネル 5 6 は、塗料等でスロットマシンの特徴となる図柄等が描かれたパネルであり、表面には透視性の保護用パネルが貼り付けられている。また、デザインパネル 5 6 には、演出ユニット 5 9 に取り付けられた演出表示装置 5 9 a 用の窓 6 3 と、回胴ユニット 6 0 用の窓 6 4 が設けられている。演出表示装置 5 9 a に表示される画像等と、回胴ユニット 6 0 の各回胴リールに表示されている図柄は、この窓 6 3、6 4 を介して遊技者に見えるようになっている。

40

【 0 0 2 2 】

デザインパネル取付枠 5 7 は、取付枠 5 8 にヒンジ 6 5 を介して取り付けられており、取付枠 5 8 に対して前枠 4 と同方向に片開き可能な構造を有している。デザインパネル取付枠 5 7 と取付枠 5 8 には、一对の吸着用磁石 6 6 a、6 6 b が設けられており、この吸着用磁石 6 6 a、6 6 b の吸着した状態によりデザインパネル取付枠 5 7 が取付枠 5 8 に対して閉じた状態となる。また、吸着用磁石 6 6 a、6 6 b の吸着状態を解除するためのつまみ 6 7 がデザインパネル取付枠 5 7 に設けられており、このつまみ 6 7 を手前側に引くことによりデザインパネル取付枠 5 7 を取付枠 5 8 に対して開いた状態とすることがで

50

きる。

【 0 0 2 3 】

また、デザインパネル取付枠 5 7 の裏側には、ランプ基板 6 8 a、6 8 b が取り付けられており、デザインパネル取付枠 5 7 に形成された開口部、およびデザインパネル 5 6 に設けられた窓を介して、ランプ基板 6 8 a、6 8 b に配設された各種ランプが遊技者に見えるようになっている。遊技者から見てデザインパネル 5 6 の右側には、上からボーナスゲームの発生を告知する告知ランプ 6 9、リプレイ表示ランプ 7 0、投入可能ランプ 7 1 の順に配置されている。また、デザインパネル 5 6 の下側には、右から取込球数を表示する表示器、即ち、賭数表示器 7 2、クレジット球数を表示するクレジット表示器 7 3、ボーナスゲームのゲーム回数または残ゲーム回数を表示する表示器 7 4、賞数 (P A Y O U T) 表示器 7 5、1 B E T ランプ 7 6、2 B E T ランプ 7 7、3 B E T ランプ 7 8、スタートランプ 7 9 の順に配置されている。

10

【 0 0 2 4 】

演出表示ユニット 5 9 は、演出表示装置としての、例えば、液晶表示器 5 9 a、回胴ユニット 6 0 a、6 0 b、6 0 c を照射するための照明器 8 0、および液晶表示器 5 9 a と照明器 8 0 を取り付けするための取付枠 5 9 b から構成されている。演出表示ユニット 5 9 は、取付枠 5 9 b に設けられた取付部材、例えば、パンチホック状の止め具 8 1 を介して遊技ユニット 5 の前側から取付枠 5 8 に取り付けられる。即ち、取付枠 5 8 に設けられた凸状部 8 2 に、演出表示ユニット 5 9 の取付枠 5 9 b に設けられた凹状部 8 3 を挿入し、凸状部 8 2 に形成された止め具受け孔 8 2 a に止め具 8 1 を押し込むことによって取付・固定されるようになっている。液晶表示器 5 9 a を含む演出遊技ユニット 5 9 は、内枠 3 に固定される遊技ユニット 5 の取付枠 5 8 に取り付けられるため、重量の大きい液晶表示器 5 9 a を安定させることができ、振動による破損、あるいはデザインパネル取付枠 5 7 の開閉動作を要因とする破損等を防止することができる。

20

【 0 0 2 5 】

また、演出表示装置としての液晶表示器 5 9 a は、液晶表示器 5 9 a に設けられた取付部 1 0 0 を介して取付枠 5 9 b の取付部 1 0 1 に、例えば、ネジ止めによって取り付けられている。そして、液晶表示器 5 9 a は、取付枠 5 9 b を遊技ユニット 5 の取付枠 5 8 に取り付けたまの状態で、デザインパネル取付枠 5 7 を開状態にさせて、スロットマシン 1 の前側から取り外しおよび装着することができる。従って、液晶表示器 5 9 a を故障等の原因により交換する場合に、その交換作業が容易であり、メンテナンス面において有利である。

30

【 0 0 2 6 】

照明器 8 0 は、演出表示ユニット 5 9 の下部にスロットマシンの前面から見て左右方向へ延びるように配置されており、棒状の蛍光管 8 0 a (例えば、冷陰極管光源) と、蛍光管 8 0 a を取り付けするための台座 8 0 b と、蛍光管 8 0 a の前面側を覆うレンズ加工した透明カバー 8 0 c から構成されている。台座 8 0 b は、取付枠 5 9 a に設けられた係合部 8 0 d によって取付枠 5 9 a に係止される。透明カバー 8 0 c は、演出表示ユニット 5 9 に取り付けられている。演出表示ユニット 5 9 は回胴ユニット 6 0 a、6 0 b、6 0 c の上側に配設されており、蛍光管 8 0 a によって回胴ユニット 6 0 a、6 0 b、6 0 c を上側から照射する構成を有している。レンズ加工した透明カバー 8 0 c により効率よく回胴ユニット 6 0 a、6 0 b、6 0 c を照射することができる。

40

【 0 0 2 7 】

また、照射器 8 0 は、取付枠 5 9 b を遊技ユニット 5 の取付枠 5 8 に取り付けたまの状態で、デザインパネル取付枠 5 7 を開状態にさせて、スロットマシン 1 の前側から取り外しおよび装着することができる。従って、照射器 8 0 を寿命等の原因により交換する場合に、その交換作業が容易であり、メンテナンス面において有利である。また、デザインパネル取付枠 5 7 には、液晶表示器 5 9 a 側への照明器 8 0 から光の漏れを防止するために仕切り板が形成されており、デザインパネル取付枠 5 7 を閉状態にしたときに仕切り板が液晶表示器 5 9 a を覆うように配置され、照明器 8 0 からの光を遮断し、画像表示の鮮

50

明さを確保している

【 0 0 2 8 】

回胴ユニット 6 0 a、6 0 b、6 0 c は、それぞれ図 1 1 に示すように、リール取付枠 8 4 と、リール取付枠 8 4 に取り付けられた回胴リール 8 5、8 5 と、回胴リール 8 5 に取り付けられる回胴ベルト 8 6 と、回胴ベルト 8 6 の外側の表面に貼り付けられる複数種類の図柄が描かれた表示シール 8 7 から構成されている。

【 0 0 2 9 】

各回胴ユニット 6 0 a、6 0 b、6 0 c は、それぞれのリール取付枠 8 4 に設けられた取付部材、例えば、パンチホック状の止め具 8 8、8 8 を介して遊技ユニット 5 の前側から取付枠 5 8 に取り付けられる。即ち、取付枠 5 8 に設けられた止め具受け孔 8 9 に止め具 8 8 を押し込むことによって取付・固定されるようになっている。回胴ユニット 6 0 a、6 0 b、6 0 c は、遊技ユニット 5 を構成する取付枠 8 5 に取り付けられたとき、演出表示ユニット 5 9 の下側、即ち、演出表示装置としての液晶表示器 5 9 a の下側に配置されている。

【 0 0 3 0 】

そして、演出表示ユニット 5 9 および回胴ユニット 6 0 a、6 0 b、6 0 c は、図 9 および図 1 2 に示すように、遊技ユニット 5 を内枠 3 に取り付けたままの状態、前枠 4 とデザインパネル取付枠 5 7 を開状態にさせて、スロットマシン 1 の前側からそれぞれ個別に取り外しおよび装着することができる構造を有している。これにより演出表示ユニット 5 9 および各回胴ユニット 6 0 a、6 0 b、6 0 c の交換、修理作業が容易であると共に、リサイクル利用も容易である。

【 0 0 3 1 】

主制御基板 6 1 は、遊技ユニット 5 の前面斜視図（図 4）と裏面斜視図（図 8）と演出表示ユニット 5 9 および回胴ユニット 6 0 a、6 0 b、6 0 c の取付状態を示す図 9 とから示されるように、遊技ユニット 5 の背部、具体的には、取付枠 8 5 の裏面であって、取付枠 8 5 に収納されている回胴ユニット 6 0 a、6 0 b、6 0 c の裏側に取り付けられている。主制御基板 6 1 は、取付部材、例えば、パンチホック状の止め具 9 0 を介して遊技ユニット 5 の裏側から取付枠 5 8 に取り付けられる。即ち、取付枠 5 8 に設けられた凸状部 9 1 に、主制御基板 6 1 に設けられた凹状部 9 2 を挿入し、凸状部 9 1 に形成された止め具受け孔 9 1 a に止め具 9 0 を押し込むことによって取付・固定されるようになっている。このような構成により、主制御基板 6 1 の交換、修理作業が容易であると共に、リサイクル利用も容易である。

【 0 0 3 2 】

主制御基板 6 1 は、スロットマシン 1 の遊技内容を制御する基板であり、例えば、前枠 4 に設けられた図柄変動開始手段であるスタートレバー 3 3 が操作されると、スタートレバー 3 3 からその操作されたことを表わす信号を受け、回胴ユニット 6 0 a、6 0 b、6 0 c の各回胴リール 8 5 に回動を開始させる制御を行うと共に、各回胴ユニット 6 0 a、6 0 b、6 0 c に停止表示させる図柄の乱数抽選を行う。また、主制御基板 6 1 は、前枠 4 に設けられた図柄変動停止手段である図柄停止ボタン 3 4、3 5、3 6 が操作されると、図柄停止ボタン 3 4、3 5、3 6 からその操作されたことを表わす信号を受け、操作された図柄停止ボタンに対応する回胴リールの回動を停止する制御を行う。さらにこのとき、図柄停止ボタンの操作されたタイミングが、回動している図柄の中の上記抽選された図柄と同じ図柄が停止図柄の表示される位置から所定の範囲内のズレである場合、例えば、図柄停止ボタンが操作されたときに、抽選された図柄と同じ図柄が、図柄の回動方向に対して停止図柄の表示される位置の手前 4 図柄以内に存在すれば、上記抽選された図柄と同じ図柄を強制的に停止図柄が表示される位置に停止表示させる、いわゆる引き込み制御を行うこともできる。

【 0 0 3 3 】

主制御基板 6 1 と回胴ユニット 6 0 との電気接続は、複数の配線コードを有するコネクタによって接続されている。主制御基板 6 1 を取付枠 8 5 の裏面であって取付枠 8 5 に収

10

20

30

40

50

納されている回胴ユニット 60 a、60 b、60 c の裏側に取り付けることによって、回胴ユニット 60 とのコネクタ脱着作業を容易に行うことができる。

【0034】

演出制御基板 62 は、遊技ユニット 5 の前面斜視図（図 4）と裏面斜視図（図 8）と演出表示ユニット 59 および回胴ユニット 60 a、60 b、60 c の取付状態を示す図 9 とから示されるように、遊技ユニット 5 の背部、具体的には、取付枠 85 の裏側面であって、取付枠 85 に収納されている回胴ユニット 60 a、60 b、60 c の遊技ユニット 5 の裏側から見て右側に取り付けられている。演出制御基板 62 は、演出制御基板取付レール 94、94 を介して取付枠 58 に取り付けられており、向かい合って取付枠 58 に取り付けられた演出制御基板取付レール 94、94 間に、遊技ユニット 5 の裏側から表側方向へスライド挿入されている。

10

【0035】

演出制御基板取付レール 94、94 間に挿入された演出制御基板 62 は、取付部材、例えば、パンチロック状の止め具 95、95 によって演出制御基板取付レール 94、94 に取り付けられている。即ち、演出制御基板取付レール 94、94 に形成された止め具受け孔 96、96 に止め具 95、95 を押し込むことによって取付・固定されるようになっている。そして、また止め具 95、95 を止め具受け孔 96、96 から抜き出すことによって、演出制御基板 62 を演出制御基板取付レール 94、94 から、即ち、取付枠 58 から取り外すことができる。このような構成により、演出制御基板 62 の交換、修理作業が容易であると共に、リサイクル利用も容易である。

20

【0036】

演出制御基板 62 は、前枠 4 に配設されたランプ 23、24 の表示制御、スピーカ 25、51 の音声制御、演出表示装置としての液晶表示器 59 a に演出画像を表示制御する基板であり、スロットマシン 1 の遊技内容に応じて各種の演出画像を表示制御している。例えば、多くの遊技球を獲得できる確率が高い遊技状態、いわゆるビックボーナス（BB）状態、あるいはレギュラーボーナス（RB）状態の発生時に、BB 状態あるいは RB 状態が発生していることを液晶表示器 59 にそれぞれ相違する画像、文字等を表示して遊技者に報知し、遊技意欲を高めている。また、非遊技時には、キャラクタ画像を表示することによる、いわゆるデモ画像を演出表示したり、あるいはそのスロットマシンの BB、RB の発生履歴等の情報を表示することによりスロットマシンの稼動頻度を高めている。

30

【0037】

演出制御基板 62 と演出表示装置との電気接続は、複数の配線コードを有するコネクタによって接続されている。演出制御基板 62 を取付枠 85 の裏側面であって取付枠 85 に収納されている回胴ユニット 60 a、60 b、60 c の遊技ユニット 5 の裏側から見て右側に取り付けることによって、演出表示装置とのコネクタ脱着作業を容易に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【0038】

【図 1】本発明に係る遊技機の一形態であるスロットマシンの分解斜視図である。

【図 2】図 1 に示すスロットマシンの、遊技ユニットを内枠から取り外した状態を表わす図である。

40

【図 3】図 1 に示すスロットマシンの、遊技ユニットを内枠に取り付けた状態を表わす図である。

【図 4】図 1 に示すスロットマシンの、遊技ユニットの斜視図である。

【図 5】図 4 の遊技ユニットに取り付けられるデザインパネルを表わす図である。

【図 6】図 4 に示す遊技ユニットのデザインパネル取付枠が開いた状態を表わす図である。

。

【図 7】図 4 に示す遊技ユニットを内枠に取り付けた状態でデザインパネル取付枠を開放させた図である。

【図 8】（a）は、図 4 に示す遊技ユニットの裏面斜視図である。（b）は、遊技ユニ

50

ットから主制御基板と演出制御基板を取り外した状態を表わす図である。

【図 9】図 4 に示す遊技ユニットから演出表示ユニットと回胴ユニットを取り外した状態を表わす図である。

【図 10】(a) は、図 9 に示す演出表示ユニットの分解斜視図である。(b) は、演出表示ユニットの裏面斜視図である。

【図 11】図 9 に示す回胴ユニットの分解斜視図である。

【図 12】図 4 に示す遊技ユニットを内枠に取り付けた状態で演出表示ユニットと回胴ユニットを取り外した図である。

【符号の説明】

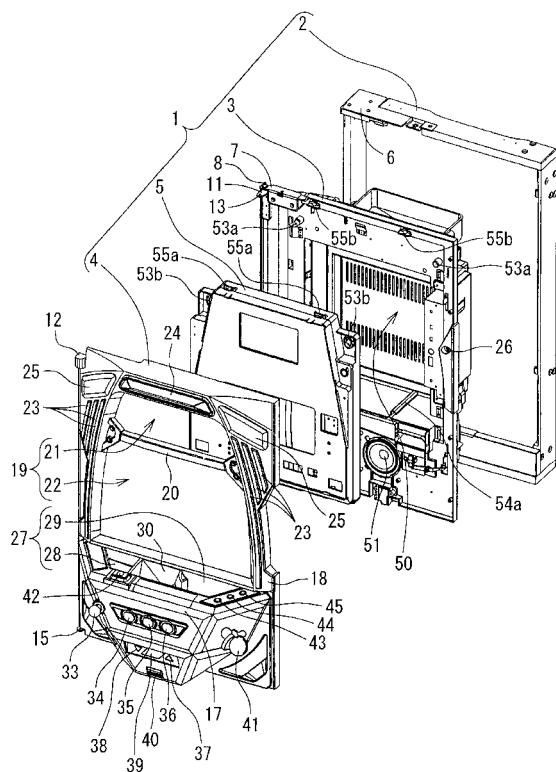
【0039】

- 2 外枠
- 3 内枠
- 4 前枠
- 5 遊技ユニット
- 56 デザインパネル
- 57 デザインパネル取付枠
- 58 取付枠
- 59 演出表示ユニット
- 59a 演出表示装置(液晶表示器)
- 60、60a、60b、60c 回胴ユニット
- 61 主制御基板
- 62 演出制御基板
- 80 照明器

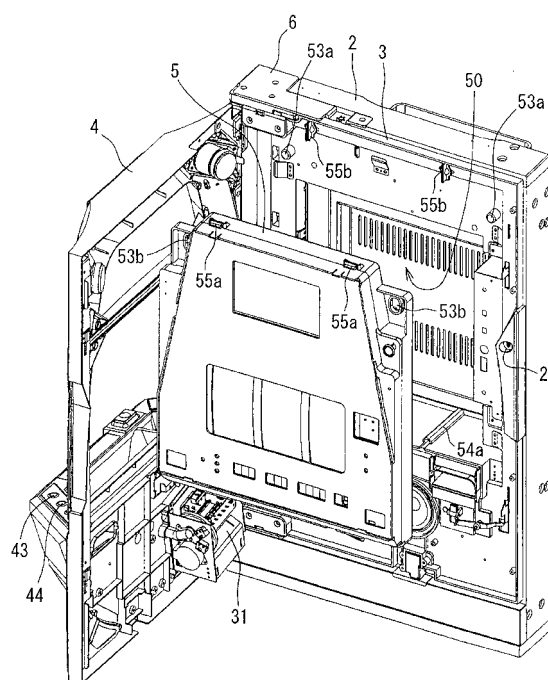
10

20

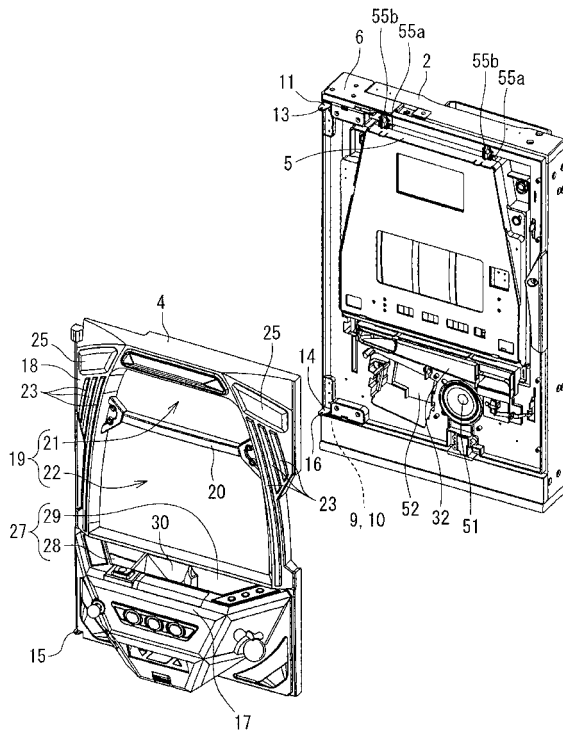
【図 1】



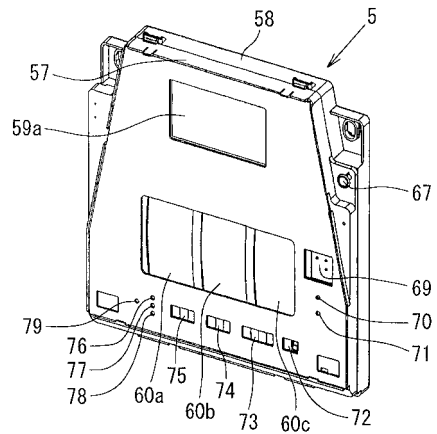
【図 2】



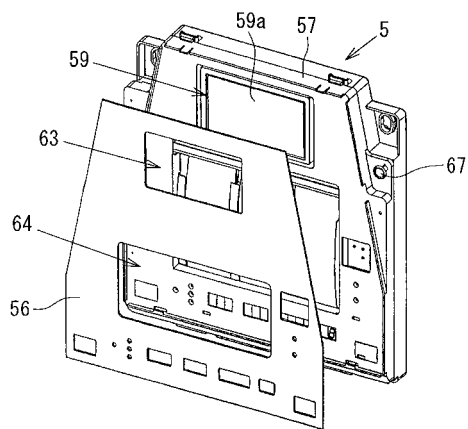
【図 3】



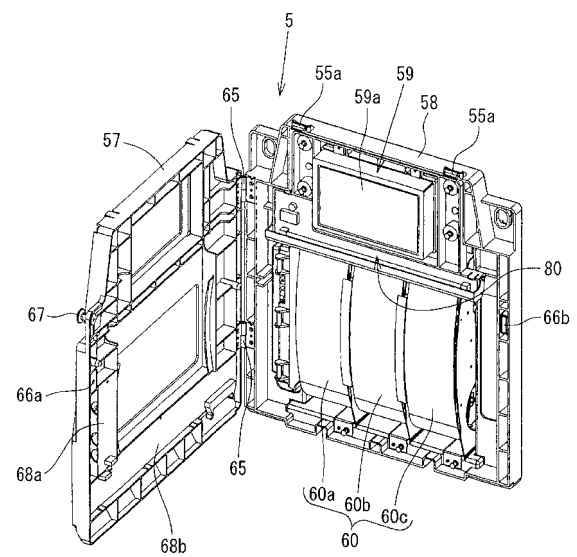
【図 4】



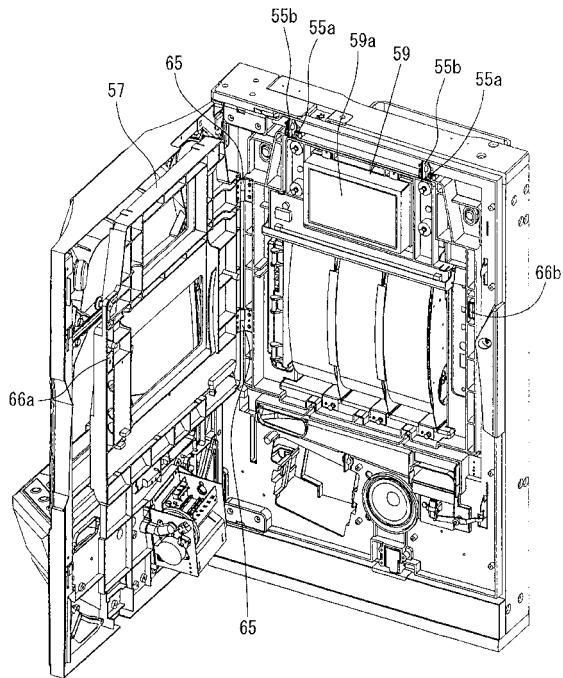
【図 5】



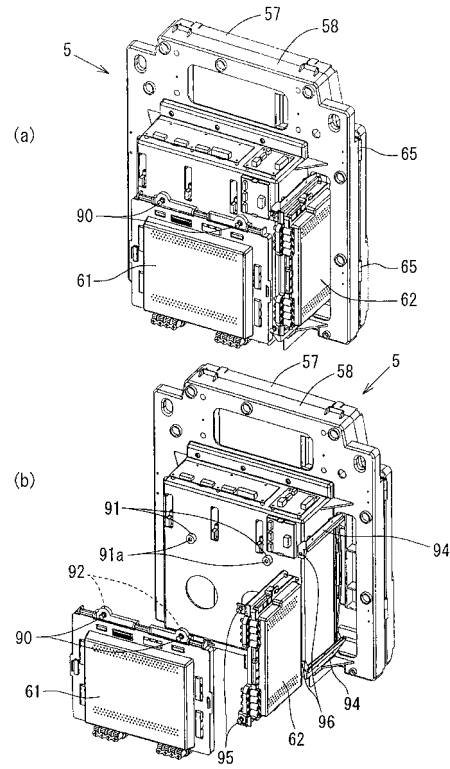
【図 6】



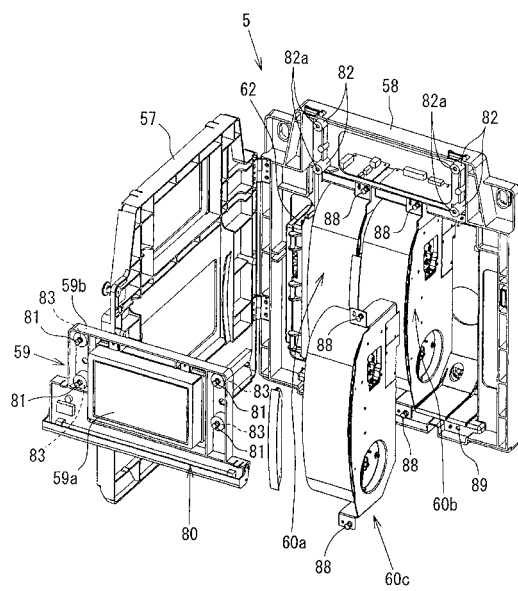
【図 7】



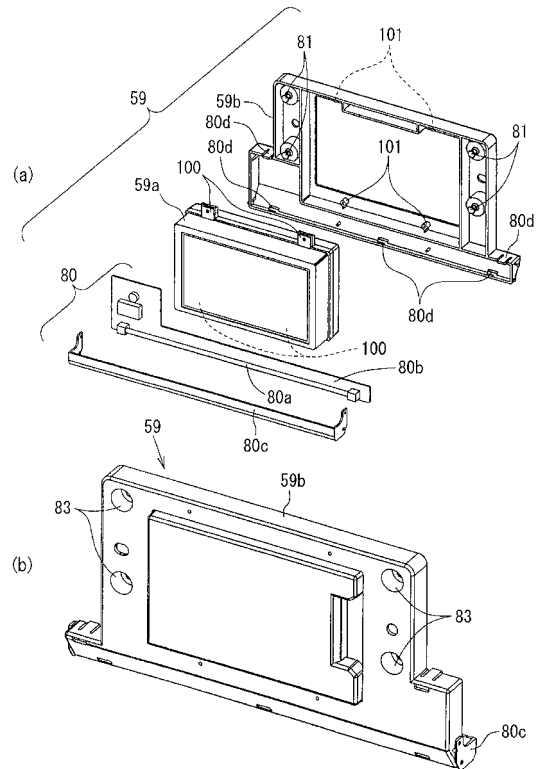
【図 8】



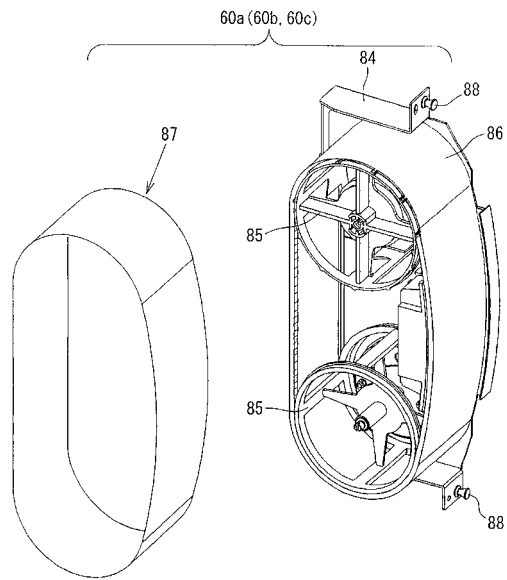
【図 9】



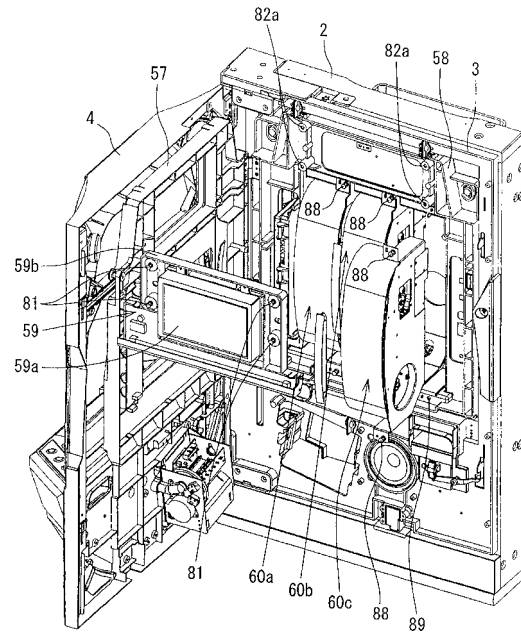
【図 10】



【図 11】



【図 12】



フロントページの続き

審査官 酒井 保

(56)参考文献 特開 2 0 0 2 - 1 9 1 8 1 6 (J P , A)
特開 2 0 0 3 - 2 7 5 3 9 0 (J P , A)

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B 名)
A 6 3 F 5 / 0 4